



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL) 079-263-9500
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,604	6.3	125	△28.8	89	△57.4	191	△46.6
26年3月期第2四半期	5,272	28.8	176	—	209	—	358	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 176百万円 (△51.3%) 26年3月期第2四半期 362百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	11.27	11.01
26年3月期第2四半期	21.53	21.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,528	7,344	47.0
26年3月期	10,774	7,261	66.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,305百万円 26年3月期 7,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	8.5	740	42.3	650	4.5	400	△55.0	23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	22,806,900株	26年3月期	22,806,900株
27年3月期2Q	5,519,710株	26年3月期	5,943,710株
27年3月期2Q	16,981,070株	26年3月期2Q	16,652,723株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策、金融政策等により円安基調に推移し、消費税率引き上げや原材料価格の上昇などの影響による景気の下振れが懸念されながらも、経済は全体的に緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国やASEAN諸国においては成長率の鈍化が見られますが、当社グループの主要マーケットについては、大型FPDパネル及びスマートフォン、タブレット端末等の設備投資需要が活発に推移しております。このような経済環境の中、当社グループにおいては、LEDランプの品揃え・拡販、配向膜製造装置及びタッチパネル製造装置の拡販、更には人材派遣分野では、当社グループに統合された2社の本格稼働による事業拡大に尽力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ3億31百万円(6.3%)増収の56億4百万円となり、営業利益は50百万円(28.8%)減の1億25百万円、経常利益は1億20百万円(57.4%)減の89百万円、四半期純利益は1億67百万円(46.6%)減の1億91百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。また、第1四半期連結会計期間より、従来の「人材派遣事業」を「人材サービス事業」にセグメント名称を変更しております。当該セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①ランプ事業

プロジェクター用ランプにつきましては、交換ランプの拡販に注力し、販売を伸ばしておりますが、プロジェクター組込用ランプについては、プロジェクターの開発時期との兼ね合いでまだ時間がかかり、売上高は、前年同期比23.5%減の5億26百万円となりました。一般照明ランプにつきましては、節電意識も根付くとともに、LEDランプの販売が順調に伸びてきておりますが、LEDランプは下期偏重の販売サイクルとなっており、またハログラムランプ等従来ランプについての暫減傾向をカバーしている為、前年同期比12.8%減の7億12百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおきましては、前年同期比65.9%増の2億72百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比7.7%減の18億64百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、従来からの大型FPDパネル用の配向膜製造装置の需要増に加え、新規分野、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置の受注が順調に推移しました。また、中古装置の海外移設プロジェクト案件を積極的に受注しております。

当期は、大型受注案件の売上が第4四半期に集中しており、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比2.9%減の18億22百万円となりました。

なお、受注は順調に推移しており、第2四半期末現在の受注残高は、来期に売上が計上される予定分を含め183億22百万と非常に高くなっております。

③検査装置事業

検査装置事業につきましては、検査装置用光源装置の販売を展開、UV露光装置の受注にも積極的に対応しております。またスマートフォン、タブレット端末液晶及びタッチパネル製造用の外観検査装置を開発し、拡販に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比15.5%減の5億8百万円となりました。

④人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図っております。前期に統合いたしました株式会社関西技研（平成25年10月に当社子会社の株式会社日本技術センターに吸収合併）、株式会社テクノ・プロバイダーの業績が寄与し、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は前年同期比79.9%増の15億20百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ48億30百万円増加し、127億98百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が5億59百万円、受取手形及び売掛金が6億12百万円それぞれ減少した一方、仕掛品が56億78百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、27億30百万円となりました。その主な要因は、減価償却等により、有形固定資産が53百万円、無形固定資産が4百万円それぞれ減少したこと、また、保有株式の時価下落等により投資有価証券が28百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ47億54百万円増加（44.1%増）し、155億28百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ44億4百万円増加し、72億29百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が32億円、前受金が14億42百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億67百万円増加し9億55百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が3億6百万円増加した一方、繰延税金負債が27百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ46億72百万円増加（133.0%増）し、81億84百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加（1.1%増）し、73億44百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を1億68百万円行った一方、四半期純利益が1億91百万円あったこと、また、ストックオプションの行使に伴う自己株式の処分により自己株式が1億6百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産及び負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ19.9ポイント低下し、47.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、40億41百万円の支出、（前年同四半期は6億96百万円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億82百万円、たな卸資産の増加額（資金の減少）58億4百万円及び前受金の増加額（資金の増加）14億42百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、58百万円の収入（前年同四半期は3億22百万円の収入）となりました。主な内訳は、投資有価証券の償還による収入1億26百万円及び有形固定資産の取得による支出60百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、34億45百万円の収入（前年同四半期は1億26百万円の支出）となりました。主な内訳は、短期及び長期借入による収入37億円、長期借入金の返済による支出1億51百万円及び配当金の支払額1億68百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億37百万円減少し、20億47百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,663,626	2,103,735
受取手形及び売掛金	3,330,329	2,717,915
商品及び製品	294,323	295,721
仕掛品	888,839	6,566,969
原材料及び貯蔵品	427,093	551,920
前渡金	54,354	202,344
その他	323,883	368,454
貸倒引当金	△14,870	△9,014
流動資産合計	7,967,579	12,798,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	872,556	839,856
土地	864,166	864,166
その他(純額)	456,701	436,202
有形固定資産合計	2,193,425	2,140,225
無形固定資産		
のれん	96,049	85,377
その他	66,701	72,399
無形固定資産合計	162,751	157,776
投資その他の資産		
その他	493,008	468,512
貸倒引当金	△41,883	△35,600
投資その他の資産合計	451,125	432,911
固定資産合計	2,807,301	2,730,914
資産合計	10,774,881	15,528,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420,573	1,177,988
短期借入金	300,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	238,400	279,996
未払法人税等	52,801	15,703
前受金	69,037	1,511,731
賞与引当金	228,752	195,706
製品保証引当金	14,874	15,928
工事損失引当金	13,547	138
その他	486,285	531,938
流動負債合計	2,824,272	7,229,132
固定負債		
長期借入金	457,500	764,172
繰延税金負債	110,063	82,605
その他	121,101	109,046
固定負債合計	688,665	955,823
負債合計	3,512,937	8,184,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	3,915,586	3,918,642
自己株式	△1,488,365	△1,382,191
株主資本合計	7,124,265	7,233,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,888	72,393
その他の包括利益累計額合計	86,888	72,393
新株予約権	50,791	38,117
純資産合計	7,261,944	7,344,005
負債純資産合計	10,774,881	15,528,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,272,564	5,604,032
売上原価	3,733,401	4,030,891
売上総利益	1,539,162	1,573,140
販売費及び一般管理費	1,362,442	1,447,234
営業利益	176,719	125,905
営業外収益		
受取利息	42	64
受取配当金	3,688	4,792
負ののれん償却額	20,076	10,038
貸倒引当金戻入額	1,765	5,146
投資有価証券評価損戻入益	12,375	73
雑収入	20,574	9,967
営業外収益合計	58,522	30,083
営業外費用		
支払利息	4,001	33,611
為替差損	2,477	14,506
シンジケートローン手数料	13,934	18,111
雑損失	4,898	409
営業外費用合計	25,310	66,639
経常利益	209,931	89,350
特別利益		
固定資産売却益	128,864	—
投資有価証券償還益	—	92,939
特別利益合計	128,864	92,939
税金等調整前四半期純利益	338,795	182,289
法人税、住民税及び事業税	39,000	25,467
法人税等調整額	△58,681	△34,542
法人税等合計	△19,681	△9,075
少数株主損益調整前四半期純利益	358,477	191,365
四半期純利益	358,477	191,365

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	358,477	191,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,457	△14,494
その他の包括利益合計	4,457	△14,494
四半期包括利益	362,935	176,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,935	176,871
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	338,795	182,289
減価償却費	147,684	111,959
のれん償却額	10,026	633
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,661	△33,045
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,797	△5,856
工事損失引当金の増減額(△は減少)	7,136	△13,408
製品保証引当金の増減額(△は減少)	70	1,053
受取利息及び受取配当金	△3,730	△4,857
支払利息	4,001	33,611
投資有価証券評価損益(△は益)	△12,375	△73
投資有価証券償還損益(△は益)	-	△92,939
固定資産売却損益(△は益)	△128,864	-
売上債権の増減額(△は増加)	644,764	612,413
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,255	△5,804,354
未収入金の増減額(△は増加)	△1,896	3,991
前渡金の増減額(△は増加)	△601,956	△147,990
仕入債務の増減額(△は減少)	31,209	△242,584
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,793	△36,514
未払金の増減額(△は減少)	△57,350	24,288
前受金の増減額(△は減少)	561,957	1,442,694
その他	△27,933	20,879
小計	815,031	△3,947,810
利息及び配当金の受取額	3,728	4,857
利息の支払額	△2,867	△33,820
法人税等の還付額	-	25,064
法人税等の支払額	△119,779	△90,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	696,112	△4,041,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36,000	-
定期預金の払戻による収入	17,000	22,451
有形固定資産の取得による支出	△49,943	△60,280
有形固定資産の売却による収入	500,657	-
無形固定資産の取得による支出	△993	△21,784
投資有価証券の取得による支出	△67	△68
投資有価証券の償還による収入	-	126,423
関係会社株式の取得による支出	△103,679	-
その他	△4,311	△8,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	322,662	58,496

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	3,200,000
長期借入れによる収入	150,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△134,100	△151,732
リース債務の返済による支出	△10,389	△269
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	-	66,568
配当金の支払額	△132,379	△168,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,869	3,445,934
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	891,905	△537,441
現金及び現金同等物の期首残高	1,585,715	2,585,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,477,621	2,047,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,979,869	1,876,422	596,438	819,834	5,272,564	—	5,272,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,373	—	5,317	25,032	71,722	△71,722	—
計	2,021,243	1,876,422	601,755	844,866	5,344,286	△71,722	5,272,564
セグメント利益	114,380	157,169	76,333	20,765	368,649	△191,929	176,719

(注) 1 セグメント利益の調整額△191,929千円には、セグメント間取引消去1,255千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△193,185千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材 サービス 事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,775,642	1,822,808	499,952	1,505,628	5,604,032	—	5,604,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,142	—	8,617	14,593	112,353	△112,353	—
計	1,864,784	1,822,808	508,570	1,520,222	5,716,385	△112,353	5,604,032
セグメント利益	111,779	107,939	38,480	64,012	322,211	△196,306	125,905

(注) 1 セグメント利益の調整額△196,306千円には、セグメント間取引消去△17,478千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,827千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 第1四半期連結会計期間より、従来の「人材派遣事業」を「人材サービス事業」にセグメント名称を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の名称を用いて表示しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「ランプ事業」に含まれていた事業の一部を「検査装置事業」に移管しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。